

作文部門

「時間を止める道具」

【学校名】

大阪スクールオブミュージック高等専修学校
一年
延次 莉衣奈

私が将来の仕事として考えているのは、沢山の写真を撮る「カメラマン」です。

私はあまり体が強くありません。ミュージカル俳優になろうと学校で頑張っていたのですが、睡眠障害を発症しました。眠れなくて、体調がどんどん崩れていって、何もできなくなっていました。運動もできず、もうどうしたらいいか分からなくなりました。そんな時に「カメラ」という存在に気が付きました。父から譲りうけたカメラで沢山の景色を撮っていた私は、「学校で輝くみんなの姿を撮りたい」と思いました。ステージに立っている人、一生懸命目標に向かって頑張っている人。写真を撮っている時は、嫌な事を忘れる事が出来ます。高校を卒業するまでに沢山写真を撮って、自分の写真展を開くのが、今の私の目標です。

私は今、学校で「報道部」として活動しています。報道部の活動は、学校生活や日常の風景を撮ったり、学校を飛び出して、観光地での取材、レポート作成。その他イベントの撮影等です。報道部は、私が今年の夏休みに発足させました。報道部の部員は私一人だけ。少し寂しいです。先日は、報道部の出張取材で、京都の花見小路、金閣寺等に取材に行きました。風情のある町並みや、歴史ある建築物。取材をしていて、京都の歴史を改めて実感しました。

私がカメラを使って、こうやって活動出来ているのは、沢山の人の支えがあったからです。カメラを私に教えてくれた父。病気になった時に、そばに

いて、励ましてくれた友達。報道部の活動を見守って下さる、学校の先生方。沢山の人に支えられて、私は今、こうやって、楽しく日々を過ごしています。本当に感謝しています。人間は一人で生きていく事は、難しい事だと改めて思います。私は、これからも沢山の人のお世話になって、生きていくと思います。だから私も、感謝を忘れる事なく、私自身も、誰かの支えになれるような人になりたいと思っています。

私は、将来カメラマンになって、沢山の笑顔を撮りたいと思っています。時間は、誰にも止める事は出来ないし、記憶も薄れていってしまうものだけど、カメラを使えば、時間を少しだけ止めて、思い出を形に残す事が出来ます。色々な人の思い出を、一番綺麗に撮れるカメラマンに私はなりたいです。今はまだ、初心者で、下手くそですが、いつかきつと、素敵なカメラマンになってやるんだと、心に決めています。病気でも、自分に出来る事は必ずあるし、がんばる事だって出来ますから、私は精一杯、カメラを学んでいきたいと思います。時間を止める道具を操る職業。それがカメラマンだと思います。私の中でベストな職業です。いつかカメラマンになれたら、今までお世話になった方々の写真を撮ってあげたいと思います。家族や、友達、先生方も。私の写真を見た人が、幸せな気持ちになってもらえるような写真が撮れるようになりたいので、どんな時でも日々精進するのみです。これからも、精一杯、頑張っていきたいと思います。